

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名	小学校耐震診断等事業（鷺別小学校校舎・青葉小学校校舎の耐震診断業務委託）			
-------------------	--------------	--------------------------------------	--	--	--

区分	番号	名 称					
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち					
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む					
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり					
小分類	3	教育環境の充実					
主要な施策	1	児童生徒の安全確保					
事務事業番号	013	事務事業コード	52231013	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	小学校耐震診断等事業
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	総務 G
-----	-----	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 市内小学校施設の耐震診断を実施し、耐震性能を把握する。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 耐震化優先度調査の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について、耐震診断（2次診断）等を行い耐震性能を把握し、耐震補強工事又は、改修工事の実施計画を行う。 平成 2 2 年度事業実施箇所 鷺別小学校校舎 4 棟 青葉小学校校舎 1 棟 平成 2 3 年度事業実施箇所 幌別小学校屋内運動場 1 棟
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 現況の建物の耐震性能を把握することにより、耐震補強工事又は改修工事の実施計画を作成することができる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 建物等の耐震改修の促進に関する法律・地震防災対策特別措置法・学校教育法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標		棟	目標値	5	1	3	1	
			実績値	5	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円	2,071	499	2,428	1,300		3,728
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	10,876	1,401	4,860	2,774		7,634
合 計			12,947	1,900	7,288	4,074	0	11,362
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	332	341			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		332	341			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 耐震化優先度調査の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性が高いと推定される建物について、耐震診断（2次診断）等を行い耐震性を把握する。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 耐震診断（2次診断）等の結果を踏まえて、計画的に耐震化の推進を図る。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業の継続により教育環境の改善を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 耐震診断における人工や所要時間の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童生徒が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進を図る。
-----------	----------------------	-------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）